

第二次橋本市生活交通ネットワーク計画について

1. 委託業務名

第二次橋本市生活交通ネットワーク計画の策定に関する調査研究

2. 委託先

国立大学法人和歌山大学

(研究担当者) 経済学部教授 辻本勝久

3. 委託業務内容

(1) 第二次橋本市生活交通ネットワーク計画策定に向けた課題と改善方策

- ・公共交通の現状と課題の整理
- ・改善方策の検討

第一次計画 (別紙資料 抜粋版 P 1)

公共交通の現状と課題

- ・地域の現状
- ・公共交通の現状
- ・市民意識 (アンケート調査を踏まえた意識等)

(2) 第二次橋本市生活交通ネットワーク計画の策定

- ・基本の方針の策定

現行計画の基本方針と基本的考え方を見直し、適宜修正を加える。
目標達成の指標となる項目については必要に応じ見直す。数値目標の設定については、その可否も含めて慎重に検討する。

第一次計画 (別紙資料 抜粋版 P 2)

〈基本方針〉

市民の生活を支え、誰もが安心して暮らせるまちの基盤として、
持続可能な公共交通体系を創り・育てます。

第一次計画（別紙資料 抜粋版P2）

〈基本的な考え方〉

- ・ より多くの人々が利用できる公共交通サービスの提供
- ・ 公共交通による地域と拠点の連絡強化
- ・ 環境に優しい交通体系の確立
- ・ 公共交通の利用促進と利便性向上
- ・ 持続可能な公共交通体系づくり

・ 施策への展開検討

新しい計画の目標を実現するための具体的な施策展開について検討する。

第一次計画（別紙資料 抜粋版P3～）

○生活交通ネットワーク計画の目標

- ・ 公共交通不便地域の解消

公共交通空白地域の解消（公共交通ネットワークの拡充）

公共交通サービス水準を上げる

①路線バス・コミュニティバス等の見直し・再編・増便

②バス以外の移動手段の導入についての検討

○公共交通利用者の維持・拡大（バリアの解消や利用誘発）

①乗り換えのスムーズ化

②運賃制度の改善

③情報提供の充実 ほか

○行政負担額の抑制

↓

○計画期間と地域公共交通維持改善事業に係る定量的な目標・効果（スケジュール）

・ 計画素案の取りまとめ

↓

橋本市生活交通ネットワーク協議会での審議



第二次橋本市生活交通ネットワーク計画書

(3) 第二次橋本市生活交通ネットワーク計画書策定後の取組み

○コミュニティバス乗降調査の実施及び結果分析



既存ルート・ダイヤ等の見直しに反映